

美しい文字を目指して

レインボー学園では、文科省検定の教科書を使って日本語による教科指導を行っています。どの学習も、「話す・聞く・読む・書く」ことが基本となります。学園内では、英語を話すことが禁止なっていますが、子供同士の会話ではあちこちで英語が飛び交っています。意識して日本語を使うことで、様々な表現を覚えることにつながります。学園内での日本語の会話をもっと楽しんでほしいと思います。また、「文字を書く」ことに関しては、英語と日本語の文字を書く方向に違いがあるようです。「アルファベット」は、フェニキア文字が起源とされています。右上に向かって書く文字が多く、横書きにはとても適しています。「ひらがな」はもともと漢字の草書体から作られた日本独特の文字です。昔は、筆を使って文字を書いていたので、下に流れるように書く縦書きが適しています。漢字は、中国から伝承された文字で、様々な方向に書く文字があり、「縦画・横画・とめ・はね・はらい」を意識することが重要となります。国語では、文字の筆順の基本は、「上から下」、「左から右」、「横から縦」を原則として指導しています。ひらがなや漢字は少し右上がりに書くと文字が美しく見えるとも言われています。文字の形や意味を意識し、文字への関心が高めることが整った文字を書くことにつながるのではないのでしょうか。



調べると見えるもの



日本では、月名を表す方法として、独特な表現を使います。保護者の方も学生時代に国語の学習で教わったと思います。1月（睦月）2月（如月）、3月（弥生）、4月（卯月）そして、今月5月は「皐月（さつき）」と言います。皐月の時期は、ちょうど、早苗を植える季節で、お米作りでは、田んぼのしろかきが終わり、田植えを始めます。

昔は、ひと苗ひと苗手で植えていましたが、最近では大型の農業機械を使って効率良く行うようです。それでは、英語では5月を「MAY」と言います。この言葉の由来は、ローマ神話豊穡の女神マイアスからとってつけられたと言われています。「五穀豊穡」という意味では、日本とアメリカとも同じです。国や地域が違っても、文化や言葉などはどこかでつながっているということを改めて感じました。

興味・関心を持つことが、学習の始まりです。教わったことだけではなく、自分から調べて知識をたくさん増やしていくことも大切です。

<今週の日本語は>

① 次のことわざには、数字が入ります。たし算するといくつになりますか。

※1 だめの正直。Third time lucky.

※2 間は※3 見にしかず A picture is worth a thousand words.

※1 + ※2 + ※3 =

② <なぞなぞコーナー>

口を大きく開けて食べるパンは？（ヒントは、中味は甘い豆）

③ 次の漢字を三つ組み合わせて、一つの漢字ができます。どんな漢字でしょう。

言、五、三、口、木、川 ⇒ ? (例) 旦、土、火、月、木、寸 ⇒ 時

答えがわかった人は、校長先生に伝えてください。

※正解した人には、日本のシールをあげます。（限定一人一枚です。）

先週の答え「ねこにこぼん」「小豆（あずき）」「案山子（かかし）」「ミルク」でした。

多くの子供たちが来てくれました。ありがとうございました。